

2022年10月1日から2025年3月31日までに眼科外来を受診され

有水晶体眼内レンズ挿入術（ICL手術）を受けられた皆様へ

研究協力をお願い

（研究期間） 研究実施許可日から2027年3月31日

（研究目的）

現在近視の人口は世界的に増加しており、有水晶体眼内レンズ挿入術（以下 ICL 手術）は近視矯正法の一つとして需要が高まっています。正式な統計データはないものの、日本国内で年間1万件以上の ICL 手術が施行されていると言われております。

ICL 手術に際して、挿入する ICL のサイズは前眼部 OCT のデータから既存の予測式により決定しますが、術後にレンズ後面と水晶体前面との間の距離（vault）が予測値から乖離することがあります。ICL 手術の安全性を高める上で上記を正確に予測することは大変重要であると考えております。

術後 vault の術前予測値と実測値を比較検討した研究は現時点で十分とは言えず、vault の予測値と実測値の比較、および予測値と実測値の乖離に影響する因子を詳細に研究することは、最適な ICL サイズの決定および手術時の合併症リスクの低減に大きく寄与し、社会に貢献できると考えます。

（研究内容）

2022年10月1日から2025年3月31日までに眼科外来を受診され、ICL手術を受けられた方の前眼部 OCT データ及び年齢、性別、屈折度、眼軸長、前房深度（ACD）、線維柱帯-虹彩間角度（TIA）、レンズ後面-水晶体前面距離（vault）の情報などを診療録から収集し、統計学的に解析いたします。

以上の趣旨をご理解いただき、是非この研究にご協力いただけますよう、お願い申し上げます。本研究への参加をご希望されない場合は、遠慮なく下記問い合わせまでお申し出下さい。研究不参加を表明されましても不利益などが生じることはありません。

本研究は大学の運営費を用いて行われます。研究を実施するにあたり特定企業との利害関係はありません。本研究の実施にあたっては、利益相反マネジメント委員会に申告を行い、承認されています。

※利益相反とは、研究者が企業など、自分の所属する機関以外から研究資金等を提供してもらうことによって、研究結果が特定の企業にとって都合のよいものになっているのではないか・研究結果の公表が公正に行われないのではないかなどの疑問が第三者から見て生じかねない状態のことを指します。

（個人情報に関して）

データ収集時に個人情報は記録せずに新たに割り振った研究用の番号で記録し、個人を特定出来るようなお名前・住所といった情報は一切公表いたしません。また、研究結果の発表時にも個人情報は使用いたしません。

（研究課題名） 有水晶体眼内レンズ（ICL）挿入術前の前眼部 OCT 解析による術後 Vault の予測と実測値との比較（承認番号：I2025-123）

（研究についての内容、問い合わせ等の連絡先）

〒113-8519 東京都文京区湯島 1-5-45

電話 03-5803-5302 (平日 9:00～17:00)

研究責任者 東京科学大学病院 眼科 高橋 知成

(苦情等窓口)

東京科学大学研究推進部 研究基盤推進課 生命倫理グループ

03-5803-4547 (対応可能時間帯：平日 9:00～17:00)